



2008 ~ 2009 年度
R I テーマ

Make Dreams Real
夢をかたちに

国際ロータリー会長 李 東 建 (国籍・韓国)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキハ別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	平野英壽	理事	赤嶺リサ	役員	会 長	平野英壽	S A A	森 宗明
"	近藤賢司	"	高宮勝美		副会長	近藤賢司	直前会長	森 宗明
"	大島由美子	"	鳴海淳郎		幹 事	亀井 孝		
"	村津忠久				会 計	河村貴雄		

VOL. 21 - 42
2009年6月2日

第 959 回 例 会

会報委員長 森 宗明

- ◆点 鐘 12:30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆国 歌 君が代
- ◆R S 奉仕の理想
- ◆唱 歌 ふじの山
- ◆B. G. M 原田泰治が描く
「日本の歌百選」より
故郷
朧月夜
紅葉 他
- ◆ゲ ス ト パントウシャート・シリパンさん
(米山奨学生)

◆出席報告 委員長 中島 澄人

本	会 員 総 数	21 名
日	出 席 者	14 名
の	事前メイクアップ	3 名
出	理 事 会 承 認	0 名
席	出 席 免 除	1 名
	欠 席 数	4 名
	出 席 率	70.00 %
前	出 席 率	66.67 %
々	事後メイクアップ	4 名
回	理 事 会 承 認	0 名
の	出 席 免 除	0 名
訂	修 正 出 席 率	85.71 %
正		
5/19		
	連 続 一 回	
	通 算 732 回	100 %

・メイクアップ

事前 亀井 (別府東RC 30周年)
赤嶺、衛藤 (杵築RC 40周年)
事後 河村 (別府北) 大島 (別府東)
赤嶺、森園 (別府東RC 創立30周年)
欠席 梶田、河村、溝部、大野

会長の時間

会長 平野 英壽

いよいよ平野・亀井年度の集大成に入りました、6月です。

このひと月を無事乗り切りたいと思います。どうか皆さん宜しく。

さて、6月はロータリー親睦活動月間です。今期もいろんな親睦活動が行われましたが、いかがだったでしょうか。親睦活動委員長の活躍はいかにか、と言うところでしょうか。あともう少し色々

とありますが宜しく。

今月はその他の委員会も平野・亀井年度の終わりの月として、いろんな目標をかかげて頂きましたので、チェックの意味で再度見直して頂き、第3週目に行われます、第4回新・旧クラブ協議会では良い報告をして頂きたいと思ひます。特に高



宮委員長のロータリー財団の1人100ドル。急遽ピンチヒッターで委員長を引き受けて頂いた米山財団の大野会員。スマイルの後藤隆委員長など、目標数字はいかがでしょうか。

又、その他の委員長、委員の皆さんも、やり忘れがあれば1つでも多くの目標をクリアして頂けたらと思います。

今我クラブでの最大の問題は、出席率ではないかと思えます。私もロータリー歴20年弱ではありますが、10年ひと昔と言いますが、10年以上前は欠席者はロータリアンの悪の根源みたいに言われていました。近年、ロータリアンの数も減少気味にあるため、一部のクラブを除いてはあまり100%を厳密に言わなくなったような気がします。とは言っても、やはりロータリークラブにおいて、出席率100%は基本ですから、いかにそれに近付けられるか、近付けるか。世の中は大変厳しく不景気の中、会員の皆さんにおいても大変な時期でしょうが、そういう時期こそ例会に出てきて元気な姿を見せて欲しいと思えます。

今日は、私年度のあと少しの思いと愚痴を聞いて頂きました。

幹事報告 **幹事 亀井 孝**

—ロータリー親睦活動月間—

1. 本日の卓話

「私がやる気になってやったことー(その1)」
村津忠久会員

2. 本日のゲスト

バントウシャート・シリパンさん
(米山奨学生)

3. 本日、例会終了後、例会場に於いて「第12回定例理事・役員会」を開催致します。

4. お祝い

結婚記念日 森 宗明さん (6月 5日)
※ご自宅お花が届きます。

5. 例会変更のお知らせ

大分城西RC 6月17日(水)の例会は、感謝のつどいの為 同日18:30~豊の国健康ランドに時間・場所変更
大分東RC 6月18日(木)の例会は、夜の例会の為 同日18:30~欧風料理ウエダに時間・場所変更

6. 次週の予定

「会員卓話」 高宮勝美会員
「会員コラム」 椛田健治会員

7. 本日の回覧

①「第4回(新・旧)クラブ協議会」出・欠席
②「会長・幹事慰労会」出・欠席

8. 本日の配布

①週報No.958
②ロータリーの友 6月号
③ロータリー探究「真のロータリアンとして生きるには」

鳴海淳郎R情報委員長より

スマイルボックス **委員長 後藤 隆**

○平野会長

各委員会、ラストスパート追い込みをよろしく。

○近藤会員

先週、日本映画GOEMONを観ました。これが日本映画なのかと思えるような映像で、ある意味ハリウッドを超えたかなと感じました。是非皆さんもいかがですか？



○高宮会員

皆様には本社ビル及びテナント棟建設で大変ご迷惑をおかけ致しましたが、本日無事全て完了致しましたのでご報告致します。

○村津会員

今週末、土、日は徳島県鳴門市での「全日本第九」です。鳴門市長が代々会長職で、現在4代目ですが、私は平成元年の結成以来、交替なしの副会長です。何年続くかも楽しみです。

ベートーベンにスマイル。

○梅津会員

ロータリー一年度ももうあと一カ月。早いものですね。1年2ヶ月の孫が後追いするのを振り切って来ましたが、始めの方は6人だったのでガクッリ来ていましたが、時間になったらさすが中央ロータリアン、そろい組になりスマイル、スマイル、スマイル。

○中尾会員

先週は仕事で宮古島に行っていました。晴天ではなかったのですが、雨も降らずに過ごせました。仕事だったため遊ぶこともなかったのですが、蒸し暑さを感じて来ました。宮古島は良いですね。長い間、宮古島にいると仕事には復帰できなくなりそうです。

○森園会員

先週は妻の誕生日プレゼントありがとうございました。昨日が誕生日でしたので、久々に2人で食事に行きました。新婚時代を少し思い出しました。

○森会員

結婚記念日のお祝いありがとうございました。32年が経ちました。あと何年続くかなと家内に言いましたら「死んでも一緒」なのだそうです。

○後藤会員

中間報告、5月末までで687,000円です。

卓 話

村津 忠久

「私がやる気になってやったこと（その1）」



先々週の例会で、会長の時間に平野会長がお話された「三気＝見る気、聞く気、やる気」から、今日の卓話のテーマを選びました。

私の生涯献血回数は、皆さんに今、回覧して頂いている「最後の献血カード」の通り、「257回」です。

私の知人で270回献血の方もおられますから、決して珍しい程の献血回数では無いと思いますが、「やる気」を起したから出来た事で、漫然と通常的生活線上では決して出来なかった事でしょう。

その「やる気」の動機は、昭和51年のある日の新聞記事でした。

「日本国内で必要としている血液の自給率は1割。9割は国外からの輸入に依存している、云々」でした。

これは真に恥ずかしい事と痛感し、以後は積極的に、且つまた、計画的に献血を致しました。市報の献血予定欄や血液センターに問い合わせ、二週間のスタンスで無駄なく献血が出来るよう、例えば、東京出張の帰途、大分空港から安岐農協に寄り道して献血する等、大分竹町入り口の献血ルームも頻りに利用させて頂きました。

満65才になる前日の平成6年2月9日が、最終の献血でしたが、この18年間は、食事の都度二重の楽しみを味わいました。食べる事を美味しく感じると同時に、この食べ物が「私の血液」と



なり、次に「もう一人の人の血液」になると言う二重の喜びです。

因みに現在の血液供給事情をセンターに尋ねましたところ、「手術等に使用する分は100パーセント国内採血のものだが、血液製剤の分は未だ国外からのものに依存」との事でした。

もう一つ「やる気を出してやった事」に、「夜明けから日暮れまでのゴルフ100ホールプレイ」があります。

私は36才の夏（昭和40年8月11日）からゴルフを始めました。

一時は猛烈に熱中し、オフィシャルハンディ＝11まで上りましたが、シングルにはなれません。そこで、凡人でも「なかなか他の人には真似の出来ない事をやってみよう」と「一日100ホールゴルフ」を企画しました。

最初のチャレンジは、昭和48年5月13日。同伴競技者は、日出町の児玉敦幹先生と別府大学の園部立夫先生。午前5時の夜明けと共にスタートしましたが、36ホールを終わった時に大粒の雹が降り出して中断。結局この日は86ホールズで日暮れとなりました。

改めて挑戦したのは、昭和55年5月15日。豊

岡ゴルフ場の全面的な協力もあって、1年程前から準備。当時の鶴見コース、高崎コース、由布コース、を順々に一定時間を限定して貸し切りにしていただいて実行。終日少雨の中でしたが、6人のキャディーさんが1バッグでハーフ毎に交代しての駆け足プレイ。午後6時前、99ホールプラス1ホールを見事達成。

歩いた距離は55キロ、この時のハーフ平均スコアは、日高慶彦（H. D. 5）＝41.27、小野善弘（H. D. 9）＝43.64、村津（H. D. 12）＝47.18でした。

「為せば成る」。勿論、当時の明石支配人をはじめ、家族を含め、多くの方々の支えがあって出来た事です。感謝。感謝。

会員コラム

河村 貴雄

『鬼神もこれを避く』

「断じて行えば鬼神もこれを避く」ということばがある。志を立て何か事を行なおうとする場合は、断固それをやりぬく気迫というものを持つことが大切である。

トヨタ自動車は戦後、経済が荒廃した昭和20年代の後半に、誰もが考えることすらしなかった、3年で「GM（ゼネラルモーターズ）に追いつこう」という目標を立てた。当時世界一の自動車会社GMをライバルに見立て、これを追い越すことを必達目標にした。それは、つまり最初から世界一になることを目指していたということになる。

目標が与えられれば、達成する為にあらゆる状

況が動き始める。智慧ある人は知恵を、技能ある人は技能を結集するようになる。

とてつもない大目標の達成は、常識を捨てる決意をした瞬間に訪れる。常識を捨てた時、それまで見えなかったものが見えるようになり、聞こえなかったものが聞こえてくる。そして偉業が達成されることになる。

潜在能力を引き出す意味でも、指導者は部下に次々にその時々に応じて適切な目標を与え続けることが大切である。それは、経営者の最も重要な仕事の一つでもある。

今回は、栂田健治会員です。